



The Kingdom of Saudi Arabia

サウジアラビア王国

第77回建国記念日

サウジアラビアと日本の
戦略的、重層的パートナーシップの発展に向けて



アブドゥラー国王よりキング・アブドゥルアジーズ勲章を授与される安倍総理大臣

[写真提供：内閣広報室]

サウジアラビア王国基本情報

| | |
|------------|--|
| 正式国名 | : サウジアラビア王国 |
| 首都 | : リヤード |
| 国土面積 | : 2,149,690km ² |
| 人口 | : 2,363万人 (内外国人居住者638万人) |
| 言語 | : アラビア語 |
| 宗教 | : イスラム教 |
| 政治体制 | : 君主制 |
| 元首 | : アブドゥラー・ビン・ アブドゥルアジーズ・アール・サウド国王 (敬称)二聖モスクの守護者 |
| 議会 | : 諮問評議会 |
| 憲法 | : シャリーア(イスラム法) |
| 通貨 | : サウジ・リヤール(SR) |
| 為替レート | : 1\$ = 約3.75SR、1SR=約30.8円 |
| 国内総生産(GDP) | : 1兆3,197億SR(約40兆6,467億円) |
| 一人当たりGDP | : 55,848SR(約172万円) |
| GDP成長率 | : 6% |
| 労働者人口 | : 8,707,600人 (内外国人4,690,200人) |
| 輸出総額 | : 7,845億SR(約24兆1,626億円) |
| 輸入総額 | : 2,502億SR(約7兆7,061億円) |
| 貿易収支 | : 5,571億SR(約17兆1,586億円) |
| 公式海外資産 | : 8,998億SR(約27兆7,138億円) |

(出所：経済企画省「SAUDI ARABIA:ECONOMIC INDICATORS(1999-2006)」)

サウジアラビア大使館

東京都港区六本木1-8-4
電話：03-3589-5241
FAX：03-3589-5200
E-mail: info@saudiembassy.or.jp
website: www.saudiembassy.or.jp

商務部

電話：03-3589-2331
FAX：03-3589-2333
E-mail: commercial@saudiembassy.or.jp

サウジアラビア総合投資院(SAGIA)

電話：03-5573-4186
FAX：03-5573-4187
E-mail: investment@saudiembassy.or.jp

アラブ イスラーム学院

電話：03-3404-6622
FAX：03-3404-8622
website: www.aii-t.org

サウジアラビア王国第77回建国記念日を祝して

経済産業大臣 甘利 明



サウジアラビア王国の第77回建国記念日に当たり、アブドゥラー国王陛下及びスルタン皇太子殿下をはじめ、サウジアラビア王国国民の皆様に対し心よりお祝いを申し上げます。

サウジアラビア王国は、これまで、また、これからも我が国にとって最も重要なパートナーであり、両国の関係は、経済面のみならず、文化、スポーツなどの幅広い分野で発展しています。これまで両国関係の発展のために御尽力いただいた全ての皆様に、深く敬意を表します。

本年4月から5月にかけて、安倍総理と私がサウジアラビア王国を訪問いたしました。光栄にもアブドゥラー国王陛下及びスルタン皇太子殿下並びにサルマンリヤド州知事に拝謁する機会を頂いたことは、私にとって望外の喜びです。

この訪問の際に、サウジアラビア王国における産業多角化を推進する目的で、両国の利用可能な資源を最大限に活用し、両国の産業における投資機会を促進する、官民合同の共同タスクフォースを設立することに合意致しました。私も日本側タスクフォース上級代表の任を拝命し、これに全力で取り組んでいく所存です。この新たな産業協力が、両国の関係をさらに緊密にしていくものと確信しております。

最後にアブドゥラー国王陛下並びにスルタン皇太子殿下をはじめ、サウジアラビア王国国民の皆様の一層の御健勝と御繁栄を祈念いたしますとともに、両国間の関係が今後より一層緊密になるよう願っております。

第77回サウジアラビア王国建国記念日に寄せて

日本経団連会長 御手洗 富士夫



サウジアラビア王国の第77回建国記念日にあたり、日本経団連を代表して心からお祝いを申し上げます。

サウジアラビア王国は、わが国へのエネルギーの安定的な供給において非常に重要な役割を果たしてこられました。

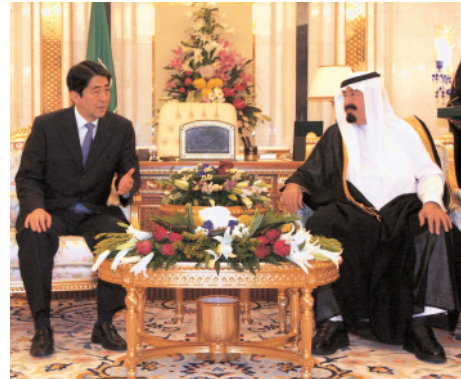
本年4月、安倍総理大臣に同行する形で、多様な業種の日本企業からなる180名の日本経団連ミッションが貴国を訪問しました。私も団長として参加しましたが、サウジアラビア王国の目覚ましい発展振りに感銘を受けました。非常に温かいおもてなしを頂くとともに、特にアブドゥラー国王陛下ならびにスルタン皇太子殿下からは、両国の関係強化におけるわが国経済界に対する期待の言葉を賜り、大変勇気づけられました。また、将来の貴国の開発の指針ともいえる経済都市の建設計画等について説明を受け、幅広い分野で協力の可能性があると確信いたしました。

わが国としても、これまでの資源・エネルギー分野をはじめとする堅固な関係を礎としながら、今後は、新しい時代を迎えつつあるサウジアラビア王国と日本の経済関係を一層拡大、強化していくために、官民一体となって取り組んでまいりたいと存じます。

最後に、貴国のさらなる発展と国民の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。私のお祝いのメッセージとさせていただきます。

安倍総理大臣のサウジアラビア訪問

二聖モスクの守護者アブドラー・ビン・アブドゥルアジーズ・アール・サウド国王の招聘により、安倍晋三内閣総理大臣は2007年4月28日・29日の両日、リヤードへ公式訪問を行いました。



安倍総理大臣は、4月28日午後1時過ぎに首都リヤードに到着し、副首相兼国防・航空相兼監査官スルタン・ビン・アブドゥルアジーズ・アール・サウド皇太子が出迎えました。その後、スルタン皇太子主催の午餐会が開かれました。

同日夜には、安倍総理大臣と随行団を歓迎するアブドラー国王主催の晩餐会が開かれ、双方は、サウジアラビア王国と日本との間の戦略的、重層的パートナーシップの発展に向けて、声明を発表しました。この声明で、両国間の政治対話の促進及び強化、両国の産業における投資機会の促進を目的とした適切かつ専門的な共同タスクフォースの設立、パートナーシップの強化に向けて経済、投資、航空、環境、文化、教育・科学、青年・スポーツの分野における協力の強化・拡大、世界最大の炭化水素資源を有するサウジアラビアと先進的なエネルギー関連技術を有する日本の相互補完的な関係に基づき、エネルギーに関する二国間協力の更なる促進、技術協力と職業訓練の分野での協力の強化及び発展などを確認しました。

またサウジアラビア商工会議所連盟、中東協力センター、ジェトロ、石油天然ガス・金属鉱物資源機構が共催したサウジアラビア日本ビジネスフォーラムに、日本側からは安倍総理大臣と御手洗日本経団連会長を団長とする財界のトップリーダーを含む180名から成る経済ミッション、サウジアラビア側からはゴサイビ経済企画大臣、ヤマーニ商工大臣、ダッバーク・サウジアラビア総合投資院総裁らが出席しました。安倍総理大臣は挨拶をし、「今回の大型経済ミッションのサウジ訪問が、両国経済関係の進展と強化の原動力となることを期待する」と述べました。



甘利明経済産業大臣もサウジアラビアを訪問



4月30日から5月2日まで、甘利明経済産業大臣もサウジアラビアを訪問し、アブドラー国王やスルタン皇太子らと会談を行いました。またゴサイビ経済企画大臣と甘利大臣が議長を務めた第9回日本サウジアラビア合同委員会では、両国の経済関係の拡大に向けた意見交換が行われました。

2010年までに世界で10番目に競争力のある経済を目指す“10×10(テン・バイ・テン)”プログラム

メガ経済都市建設プロジェクト

アブドラー国王は経済の多角化を目指して、教育、金融、情報技術など様々な産業を促進しています。石油で得た潤沢な資金を最大限に活用し、雇用機会の創出やさらなる国家繁栄のために多くのプロジェクトを計画しています。そして現在、持続可能な経済成長の基礎とするべく包括的な経済戦略を実施しています。国内外からの民間投資により、サウジアラビア国内に6カ所の経済都市建設が進められ、それぞれの地域の特性を生かした都市づくりが行われています。

たとえば、2008年末にも第一期区画が完成予定の「キング・アブドラー・エコノミック・シティ」は、総投資額270億米ドルが見込まれる世界最大級の総合経済特区です。地中海とインド洋を結ぶ立地を生かして巨大タンカーが航行可能な広大な港湾設備が建設され、一大物流拠点として機能を果たします。近代的な生産施設を誇る工業地区は今後のサウジアラビアの工業の中心となるでしょう。金融地区は世界でも有数の金融機関にとって重要な戦略基地となることが予想されています。

Vision

サウジアラビアにおける迅速かつ持続性のある経済成長の達成のため、十分な投資を誘致し、エネルギー産業の世界的中心地ならびに東洋と西洋を結ぶ主要ハブとしてのサウジアラビアの競争力を強化すること

Mission

ビジネスが容易な環境、知識を基盤とした社会を創造し、世界規模の新しい「経済都市」を開発することにより、2010年までに世界で最も競争力のある10カ国のひとつにサウジアラビアを位置づけること

世界最大級の総合経済特区 KING ABDULLAH ECONOMIC CITY



キング・アブドラー・エコノミック・シティ

港湾、物流、軽工業、サービス業
投資額：270億米ドル
新規雇用数：100万職
居住人口：200万人

石油精製、石油化学産業に重点 JAZAN ECONOMIC CITY



ジーザーン・エコノミック・シティ

エネルギー、労働集約型産業
投資額：270億米ドル
新規雇用数：50万職
居住人口：25万人

世界中のイスラム教徒を魅了する都市 THE KNOWLEDGE ECONOMIC CITY IN MADINAH



マディーナ知識経済都市

イスラム関連の知識産業、イスラム教徒用巡礼観光サービス
投資額：70億米ドル
新規雇用数：2万職
居住人口：20万人

新たな物流の中心地 PRINCE ABDULAZIZ BIN MUSAID ECONOMIC CITY IN HAIL



プリンス・アブドゥルアジーズ・ビン・ムサイド・エコノミック・シティ

物流、鉱業、農業関連産業
投資額：80億米ドル
新規雇用数：5万5千職
居住人口：8万人

10×10への道程

～主な3つの取り組み～

競争力管理プロセスの制度化
300以上に亘る国際的な指標で競争力を評価

競争力のある地域の構築
主要6都市にメガ経済都市を建設

国際的競争力のある3セクター
エネルギー、運輸関連、知識を基盤とした産業

そのほか教育関連施設、リゾート施設、居住地区などが最新の技術により建設される予定です。

「キング・アブドラー・エコノミック・シティ」の他にも、「マディーナ知識経済都市」は知識集約型産業の確立を目指し、ハイルの「プリンス・アブドゥルアジーズ・ビン・ムサイド・エコノミック・シティ」は物流と鉱業、「ジーザーンエコノミック・シティ」は石油精製・石油化学などの工業を中心とするなど、各都市にはそれぞれの地域性に根ざした主要産業を設けています。

これらのメガ経済都市だけでも、GDP(国内総生産)は約1500億ドル、労働者数130万人、人口450万人、一人当たりGDPは33,500ドルとなることが予測されています。

このように“10×10(テン・バイ・テン)”プログラムは、活気あふれる都市の構築により特色ある地域経済の開発および雇用の創出を実現し、国家経済の多角化と発展を目指しており、サウジアラビア総合投資院主導の下、国内外からの投資を誘致しています。